

エコ住宅ってどんな家？

「エコ住宅」に取り入れられている、環境と住む人にやさしい仕組みをご紹介します。新築や大掛かりなリフォームは難しくても、照明をLEDに切り替えたり、庭に木を植えるといったことも、エコ住宅づくりの第1歩となりますよ。

太陽光発電

屋根に太陽光パネルを設置し、太陽の光で電気をつくるシステム。晴れた日の昼間は、発電した電力で家庭内で使用する電力の多くをまかなうことができると言われています。

自然光を利用する

昼間は窓から自然光を取り込めば、照明器具をつけずに過ごすことができます。

断熱材の使用

熱を伝えにくい素材を壁や床などに利用することで、夏の暑い空気や冬の冷たい空気が室内に侵入することを防ぎ、家全体の室温を安定させます。

LED照明

消費電力量は白熱灯の約1/7。排出するCO₂量も減少し、白熱灯と比べると年間で約67kgものCO₂を削減できることとなります。寿命が長く、交換の回数が少ないことも特長の1つです。

庭で木を育てる

庭に木を植えることで、日射しを適度に遮ることができます。落葉樹を植えておくと、夏は過剰な日射しを緩和し、秋冬には葉が落ちるためあたたかな日射しを適度に受け入れることが可能です。

冬の工夫：床暖房

エアコンなど、他の暖房器具に比べて室温が低くても十分にあたたかさを得ることができます。また、チリやホコリを舞い上げないため、アレルギーやぜんそくが気になる場合も安心して使えます。

空気の通り道をつくる

窓やとびらを開けるときは2箇所以上開けて、空気の入り口と出口をつくりましょう。冷暖房を使わない春や秋に、外気のあたたかさや涼しさを適度に室内に取り入れることができます。また、高断熱・高气密な家であるほど、湿気やニオイがこもりやすくなるので、空気の動きを作ることが大切です。

エコ家電を選ぶ

家電を買い替える際には、エネルギー効率の良いエコ家電を選ぶようにしましょう。

窓に断熱シートをプラス

窓にホームセンターなどで手に入る断熱シートを貼ると、熱の流入流出を抑えることができます。

節水蛇口を利用

普段より少ない水量でも、水の出る勢いが変わらない節水専用の蛇口やシャワーヘッドを利用することで、無理なく節水に取り組みます。

高効率給湯器を設置

高効率給湯器とは、エネルギーの消費効率のよい給湯器のこと。従来のガス給湯器よりもCO₂排出量が少なくなる他、ランニングコストが小さくなります。家族構成や使用時間、使用量などによって適したタイプが異なりますので、各製品の特長をよくチェックしましょう。



環境と人にやさしい暮らしを

エコ住宅&エコリフォーム

近年ニュースなどで取り上げられることも多い「エコ住宅」。自然の力や効率の良いシステムを活用した、環境にも家計にもやさしい家のことです。



現在、国土交通省が「省エネ住宅ポイント」の受付を行っているのをご存知ですか？これは、環境に配慮した建材やシステムを利用して住宅の新築やリフォームを行うと、商品券などと交換できるポイントが発行される制度です。これまでも2度実施されています。新築や大きなリフォームは難しいですが、消費電力の少ない照明を使用したり、水の使用量を抑えられる節水蛇口に交換するなどの「エコな工夫」なら、今日から取り入れられそうです。

新築やリフォームを考えている人もそうでない人も、改めて「エコな暮らし」について学び、未来の地球環境のためにできることを考えるきっかけにしたいものです。

エコ住宅のポイント

1 使用するエネルギーを抑える

冷暖房や照明などによる消費エネルギーを減らす工夫を取り入れること。

- 例えば ● 壁や床への断熱材の使用
● 空気の通り道をつくる など

2 自然エネルギーを利用する

自然エネルギーをそのまま利用したり、電気や熱をつくること。

- 例えば ● 太陽光パネル
● 昼間の自然光利用 など

Plus One 住む人にもやさしい家に

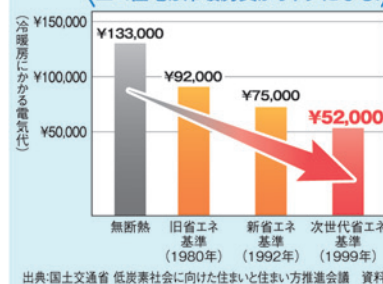
長く住み続けてエコな暮らしを続けていくためには、環境だけでなく住む人にとってやさしい空間を作りたいものです。木の柱や床、光を取り込み明るく障子など、天然素材や日本ならではの素材を取り入れて、心がほっとやすらぐ空間にしたいですね。

NEXT

「エコ住宅」について詳しくは次頁を

Check!

エコ住宅は冷暖房費がオトクになる!



次世代省エネ基準とは？

基準値をクリアする断熱材で高断熱・高气密の住宅を指すことで、快適な屋内環境を維持しながら、冷暖房による消費エネルギー量を削減することを目指すものです。1980年に初めて定められ、1992年と1999年には21世紀の住まいづくりに照準を合わせて大幅に改正されました。

現在定められている「次世代省エネ基準」をクリアしたエコ住宅は、夏の暑い空気や冬の冷たい空気が室内に侵入するのを防ぐ構造になっています。そのため、冷暖房機器の使用を減らすことができ、光熱費の節約につながります。

「エコ住宅」は、

「エコ住宅」は家計にもやさしい

「エコ住宅」は、大きく3つのポイントから環境への負担をできるだけ少なくするための工夫がなされた住宅のことを指します。